

四国・九州地域における野生ラン（セッコク）の収集

篠田浩一¹⁾・須藤憲一

野菜・茶業試験場 花き部 流通技術研究室

¹⁾現 北海道農業試験場 作物開発部 花き研究室

Collection of Wild Wrchid (*Dendrobium moniliforme*) in the Sikoku and Kyusyu Districts in Japan

Kouichi SINODA and Kenichi SUTO

*Postharvest Technology Laboratory, Department of Floriculture,
National Research Institute of Vegetables, Ornamental Plants and Tea,
Anou, Age, Mie 514-23, Japan*

Summary

The exploration of *Dendrobium moniliforme* (L.) Swartz in the Shikoku and Kyusyu districts in Japan was carried out in September, 1991.

A total of twenty seven samples, including 2 samples with red flower, three with yellow flower, three with dwarf growth habit, and four with marginal variegation were collected as shown in Table 1.

KEY WORDS : *Dendrobium moniliforme*, wild orchid, Shikoku, Kyushu

1. 目的

デンドロビウム属の野生種は熱帯アジアを中心に約1200種が分布し¹⁾、そのうち、わが国にはセッコク (*D.moniliforme* (L.) Swartz) 及びキバナセッコク (*D.stricklandianum* Rchb. f.=*D. tosaense* Makino) の2種が西南暖地を中心に自生しており、現在の栽培品種の重要な交配親として利用されている。特にセッコクは高温条件でも花芽を分化し²⁾、萌芽性も良いことから早生系品種の交配親として多く利用されており、その子孫は花芽分化や萌芽に低温要求の少ないことが明らかとなっている^{3,4,5)}。セッコクは自生地により生態型や草姿・花色に変異が見られ、また促成適応性や低温伸長性に優れた系統が存在するものと考えられ、育種素材としての利用価値は高いが、近年の山地の開発や乱獲により、これら野生種は急激に減少してきており、緊急に収集・保存する必要がある。このため本課題においては、四国・九州地方におけるセッコクの系統を収集し保存を図ることとした。

2. 経過及び調査・収集方法

宮崎県農試，鹿児島県農試及び野菜茶業試験場久留米支場の協力を得て，9月3日から9月6日にかけて現地調査および収集を行った。また，花型や草姿の優れた選抜系統については，採取地の明らかなものを中心に野生ランの専門業者から購入した。

3. 収集成果

宮崎県北部（高千穂町）で1点，鹿児島県北部（栗野町）で2点，鹿児島県南部（坊津町及び佐多町）で4点，計7点の山取り株を収集した。開花期外の収集となったため，花形や花色の確認はしていない。全体に株が弱っており，開花までに2年程度の培養が必要と考えられた。

一方，野生ランの専門業者から購入したものとしては，福岡県産1点，宮崎県産1点，愛媛県産7点，香川県産1点，高知県産3点，徳島県産1点の14点であり，このほか兵庫県産2点，広島県産1点，京都府産1点，和歌山県産2点を加えて，計20点であった。このなかには，赤花品種2点，黄花3点，矮性種3点，覆輪種4点，変化花（枝咲き及び整形花）2点が含まれている。

4. 収集材料の今後の処置

収集した株は，素焼き鉢にミズゴケ植えとし，ガラス室内で管理して増殖・保存並びに特性調査を行う予定である。

5. 所感

野生ランの栽培ブームとともに自生地での乱獲が進んでおり，10年以上前には多くの自生が見られた場所でも崖の途中など採取困難な場所を除いてはほとんど株が見られない状態となっている。セッコクは江戸時代より葉や茎の変化を鑑賞する「長生蘭」として多くの品種が培養されていたが，近年花色や花容の変化を楽しむ「花物」の人氣も高まっており，これも乱獲に拍車をかける要因と考えられる。

今回の調査では，西南暖地産のものを中心に収集したが，セッコクは北は岩手県南部，南は台湾に至る広い地域に分布しており，生態反応や開花習性に大きな変異が期待できることから，今後その収集を進めるとともに，育種素材としての評価を行うことが重要であると考えられる。

引用文献

- 1) 園芸植物大辞典 1989. 第5巻409-433, 小学館
- 2) 澤 完・中川剛彦 1978. 日本産野生ランの開花に関する研究(第2報)セッコクの開花に及ぼす温度の影響. 園学要旨 1978:306-307.
- 3) 篠田浩一・須藤憲一・原 幹博・青木正孝 1988. デンドロビウムの開花に及ぼす昼夜温の影響. 野菜茶試研報, A2:279-290.
- 4) ————— 1989. デンドロビウムの生育に及ぼす温度の

影響. 野菜茶試研報, A 3 : 139-153.

5) 野村 正・佐藤 登 1975. デンドロビュームの生育ならびに開花調節に関する研究. 山口農試特研報, 26 : 1-103.

Table 1 A collection List of *Dendrobium moniliforme* in Japan in 1991
収集材料一覧

収集番号	種属名	品種名	採取場所	備考
9101	<i>D.moniliforme</i>		宮崎県臼杵郡高千穂町	
9102	〃		鹿児島県始良郡栗野町	
9103	〃		〃	
9104	〃		鹿児島県川辺郡坊津町	
9105	〃		〃	
9106	〃		〃	
9107	〃		鹿児島県肝属郡佐多町	
9108	〃	雷山	福岡県	赤花
9109	〃		宮崎県日南地方	普通種
9110	〃		愛媛県石鎚山系	〃
9111	〃		〃	矮性種
9112	〃		〃	枝咲
9113	〃		〃	整形花
9114	〃	石鎚	〃	黄花
9115	〃	伊予紅	〃	赤花
9116	〃	石鎚ダルマ	〃	矮性種
9117	〃		香川県小豆島	〃
9118	〃		高知県	普通種
9119	〃		〃	覆輪
9120	〃	金砂湖	〃	黄花
9121	〃		徳島県	覆輪
9122	〃		兵庫県丹波地方	普通種
9123	〃		〃	覆輪
9124	〃		広島県	〃
9125	〃		京都府	普通種
9126	〃		和歌山県南部	〃
9127	〃	紀州本黄	和歌山県	黄花